



吹田 薫 議員

防災対策

耐震改修の助成制度は

どのようにしていくのか

新たな支援を含めた  
補助制度の検討を行っていきます。

答

今年になって、大きな地震が日本各地で起こり大きな被害が出ていますが、高島市も近い将来高い確率で起こるとされる琵琶湖西岸断層帯の地震や南海トラフ地震など、いつ起こるか分からない災害に備えるべきだと考える。

答 土木上下水道部長

本市では、耐震診断や耐震改修補強案等の作成を無料で行っているほか、診断の結果倒壊する可能性が高いと判定された住宅を対象に、木造住宅の耐震にかかる改修費用の一部について助成を行っています。

に取り組んでいます。

しかしながら、耐震化に要する費用負担が大きいなどの理由から耐震改修が進んでいないのが現状であり、現在高島市商工会建設業部会と連携しながら、耐震化の普及促進に向けたセミナーの開催や安くて効果の高い耐震工法の検討など

なお、助成制度につきましては、木造住宅の耐震化を一層促進するために、国や県の補助を活用し、新たな支援を含めた補助制度の検討を行うとともに、広報等を通じて積極的に支援制度のPRに努めてまいります。

問

耐震化されていない住宅に対して、防災減災の観点から、耐震改修の助成制度はどのようにしていくのか。

その他の質問

● 若者定住について

琵琶湖西岸断層帯の地震発生率

断層帯名	予想地震規模 (マグニチュード)	活断層における 相対的評価	地震発生率			平均活動間隔
			30年以内	50年以内	100年以内	最新活動時期
琵琶湖西岸断層帯(北部)	7.1程度	Sランク	1~3%	2~5%	4~10%	約1,000年-2,800年
						約2,800年前-約2,400年前
琵琶湖西岸断層帯(南部)	7.5程度	Zランク	ほぼ0%	ほぼ0%	ほぼ0%	約4,500年-6,000年
						1185年の地震

※断層帯北部は、高島市に分布する断層であり、長さは約23km。

断層帯南部は、高島市南方(旧高島町付近)の琵琶湖西岸付近から大津市国分付近に至る断層であり、長さは約38km。

(政府 地震調査研究推進本部ホームページ「主要活断層帯の長期評価の概要」参照)